

正誤表（達成状況評価）

69：香川大学

No.	現況分析単位 (学部・研究科 等)	頁数	誤	正	修正事由
01		p.8	(略) (大学院では、医学系研究を3専攻から1専攻2コース制へ改組 (略))	(略) (大学院では、医学系研究 <u>科</u> を3専攻から1専攻2コース制へ改組 (略))	脱字があったため
02		p.32	(略) 香川県弁護士遺書族の若手弁護士による (略)	(略) 香川県弁護士 <u>会所属</u> の若手弁護士による (略)	誤字があったため
03		p.39	(略) 農学研究科では、「希少糖イノベーション」のような先端的な授業を、大学院教養科目として開講し、(略)	(略) 農学研究科では、「希少糖イノベーション」のような先端的な授業を、大学院 <u>基盤科目</u> として開講し、(略)	誤記があったため
04		p.39	(略) 農学研究科では「希少糖イノベーション」のような先端的な授業を、大学院教養科目として開講している。	(略) 農学研究科では「希少糖イノベーション」のような先端的な授業を、大学院 <u>基盤科目</u> として開講している。	誤記があったため
05		p.40	(略) 香川県教育委員会と定期的に意見交換を行う体制 (略)	(略) 香川県 <u>教育委員会</u> と定期的に意見交換を行う体制 (略)	脱字があったため
06		p.42	(略)「希少糖イノベーション」(大学院教養科目)を研究科全員の必修科目として開講している。	(略)「希少糖イノベーション」(大学院 <u>基盤科目</u>)を研究科全員の必修科目として開講している。	誤記があったため
07		p.52	この結果、部局間連携による授業の科目数(回数)は、平成28年度の46科目(440回)から、平成31(令和元)年度は83科目(775回)に増加した。	この結果、部局間連携による授業の科目数(回数)は、平成28年度の46科目(<u>460</u> 回)から、平成31(令和元)年度は83科目(775回)に増加した。	表1-2-1-C(本文p.52)の数値と齟齬が生じたため

正誤表（達成状況評価）

08	p.70	<p>表 1-3-2-G： サポーター数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>平成 28年 度</td> <td>平成 29年 度</td> <td>平成 30年 度</td> <td>令和 元 年 度</td> </tr> <tr> <td>サポ ー タ ー 数</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>51</td> </tr> </table>		平成 28年 度	平成 29年 度	平成 30年 度	令和 元 年 度	サポ ー タ ー 数	4	0	0	51	<p>表 1-3-2-G： サポーター数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>平成 28年 度</td> <td>平成 29年 度</td> <td>平成 30年 度</td> <td>令和 元 年 度</td> </tr> <tr> <td>サポ ー タ ー 数</td> <td>4</td> <td><u>51</u></td> <td><u>35</u></td> <td>51</td> </tr> </table>		平成 28年 度	平成 29年 度	平成 30年 度	令和 元 年 度	サポ ー タ ー 数	4	<u>51</u>	<u>35</u>	51	表 1-3-2-A（本文 p. 66）の数値と齟齬が生じたため		
	平成 28年 度	平成 29年 度	平成 30年 度	令和 元 年 度																						
サポ ー タ ー 数	4	0	0	51																						
	平成 28年 度	平成 29年 度	平成 30年 度	令和 元 年 度																						
サポ ー タ ー 数	4	<u>51</u>	<u>35</u>	51																						
09	p.83	第 2 期からの増減は、それぞれ 3.8 ポイント増、0.5 ポイント増、3.4 ポイント増となる。	第 2 期からの増減は、それぞれ <u>3.7</u> ポイント増、0.5 ポイント増、3.4 ポイント増となる。	別添資料 2-1-1-1-d の数値と齟齬が生じたため																						
10	p.85	植物ゲノム・遺伝資源解析センター内に（略）	植物ゲノム・ <u>遺伝子</u> 源解析センター内に（略）	誤字があったため																						
11	p.91	<p>表 2-2-1-A：国際共同研究・異分野融合研究の実施件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>平成 27 年度</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">（略）</td> </tr> <tr> <td>異分野融合</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>国際共同</td> <td>107</td> </tr> <tr> <td>うちアジア</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>137</td> </tr> </table>		平成 27 年度	（略）	異分野融合	30	国際共同	107	うちアジア	58	合 計	137	<p>表 2-2-1-A：国際共同研究・異分野融合研究の実施件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td><u>第 2 期平均</u></td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">（略）</td> </tr> <tr> <td>異分野融合</td> <td><u>24</u></td> </tr> <tr> <td>国際共同</td> <td><u>87.5</u></td> </tr> <tr> <td>うちアジア</td> <td><u>50</u></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td><u>111.5</u></td> </tr> </table>		<u>第 2 期平均</u>	（略）	異分野融合	<u>24</u>	国際共同	<u>87.5</u>	うちアジア	<u>50</u>	合 計	<u>111.5</u>	確認事項への回答に伴う本文の修正（正誤表 No. 09）により、表と本文に齟齬が生じたため
	平成 27 年度	（略）																								
異分野融合	30																									
国際共同	107																									
うちアジア	58																									
合 計	137																									
	<u>第 2 期平均</u>	（略）																								
異分野融合	<u>24</u>																									
国際共同	<u>87.5</u>																									
うちアジア	<u>50</u>																									
合 計	<u>111.5</u>																									
12	p.94	（略）国際共同研究及び異分野融合研究の実施件数が、第 2 期末の 137 件と比較し、令和元年度は 166 件と約 20%増加しており、（略）	（略）国際共同研究及び異分野融合研究の実施件数が、 <u>第 2 期中期目標期間の平均の 111.5 件</u> と比較し、 <u>第 3 期中期目標期間 4 年間の平均は 164.5 件</u> と約 <u>48%</u> 増加しており、（略）	確認事項への回答に伴い本文に齟齬が生じたため																						

正誤表（達成状況評価）

13	p.101	瀬戸内海における環境保全でのダム湖の湖底低質改善の研究や（略）	瀬戸内海における環境保全でのダム湖の湖底 底 質改善の研究や（略）	誤字があったため
14	p.107	（略）取材を受けて報道されている【別添資料 3-1-2-3-d】【別添資料 3-1-2-3-e】。	（略）取材を受けて報道されている【別添資料 3-1-2-3-d- 1 】【別添資料 3-1-2-3- d - <u>2</u> 】。	資料番号に誤りがあったため
15	p.123	大学基盤教育センターと IO が協働し、（略）	大学 教育基盤 センターと IO が協働し、（略）	誤字があったため